



▲千代田高等学校
神楽愛好会としての活動は、平成3年に始まり今年で26年目を迎える。部員数は現在14名、部員の多くは北広島町や安芸高田市の神楽団に所属する。



▲島根県立浜田商業高等学校
県で郷土芸能部門の文化推進校に指定され、平成17年度から部活動を開始し今年で12年目を迎える。部員数は21名。



▲宮崎県立高千穂高等学校
「大道を歩む」の教訓のもと、来年度には100周年を迎える伝統校。神楽保存会は学校祭で神楽を奉納したり、他校の生徒会行事や町のイベントなどで披露。5名が出演。



▲吉田高等学校
神楽部は創部17年目を迎え、現在3年生4人、2年生8人、1年生4人の計16人で活動する。安芸高田市には二十二の神楽団があり、部員はそれぞれの地域の神楽団に所属する。



▲島根県立江津高等学校
岩見神楽愛好会を結成し、学園祭だけでなく地域での行事等に積極的に参加し神楽を披露する。活動が認められ、2年前から島根県西部県民センター「地域系部活動設置促進事業」によりチーム江津地域活性部の中の一つとして活動する。現在部員は総勢11名。



▲島根県立浜田養護学校
神楽部は、平成10年11月の創立20周年記念式典の折、有志で舞ったことをきっかけに同好会としてスタートした。神楽が好きな中学部、高等部の生徒たちが集まり、地元金城町の「下来原西組社中」の方の指導の協力を得て、部員数24名で練習に励む。



▲岩手県立葛巻高等学校
郷土芸能部は、地元の祭礼やイベント出演ほか、各種大会にも出場している。神楽甲子園では、毎回観客の多さと熱心さに圧倒され、昨年からの広島岩手県人会の応援に感激した。15名が出演。



▲可部高等学校
神楽部は平成23年に同好会として発足し、翌年には部に昇格した。現在、1年生3名、2年生3名、3年生5名の計11名で、平日の放課後18時まで、みんなで楽しく技術を磨く。



▲加計高等学校芸北分校
神楽部は、昭和45年に当時の3年生部員が「神楽を上演したい」と地元の神楽団に指導を懇願し実現したことが創部の始まり。以来、今年で45年目を迎え、現在の部員は19名。

第6回高校生の神楽甲子園



夏の熱さがそこにはあった！！

7月23日(土)・24日(日)の2日間、神楽ドームで全国の高校生による熱い”舞”に、述べ3,000人を超える観客は魅了され、感動に涙しました。



▲広島新庄高等学校
郷土芸能同好会として、昭和46年に発足し、46年目を迎える。現在、約10名の部員。



▲岩手県立伊保内高等学校
平成15年に岩手県高等学校総合文化祭に「江刺家神楽」で初出場の後、郷土芸能委員会を結成。現在、委員は25名。



▲鳥取県立日野高等学校
平成7年に地域の方から後押しされ郷土芸能部を結成。地元に残る荒神神楽を継承するために、多くの方々の支援のもと活動を続ける。13名が出演。



▲高知県立橋原高等学校
橋原ディスカバリークラブは、昭和48年にふるさとの再発見を目的に発足。津野山神楽保存会の指導のもと、現在の部員数は28名。



▲島根県立矢上高等学校
神楽をしたい！という有志が集まり、現在13人で活動。各々の部活動があるなか、短い練習時間を使い、一生懸命練習。



▲静岡県立遠江総合高等学校
郷土芸能部は、周智郡森町に1200年以上受け継がれ、国の重要無形文化財に指定されている天宮神社十二段舞楽の継承と、伝統文化の担い手の育成を目的に発足。部員は総勢18人。